

教科	芸術	科目	音楽 I	履修区分	必修	使用教科書	大修館書店 『音楽 I Tuttl+ 050-901』
添削指導回数	6	面接指導回数	2	単位認定試験回数	1	副教材等	NHK高校講座 大修館書店

学習の目標

音楽の幅広い活動を通して、生徒が個性を生かしながら思いや意図をもって表現したり味わって鑑賞したりする力を育成し、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。
音や音楽が醸し出すよさや美しさなどを感じ取り、そこに価値を見いだせる感性を養う。
音や音楽を知覚・感受して、思考・判断し表現する音楽活動の過程を通して、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。
音や音楽と生活や社会との関わりについて考え、音環境への関心を高め、音楽の知的財産権を尊重する態度の形成を図る。
中学校音楽科の学習を踏まえ、楽曲固有のよさや美しさなどを味わうだけでなく、文化的・歴史的背景など広い視野で音楽を捉えて、我が国及び諸外国の音楽文化への理解を深める。

学習に取り組む際の注意事項

添削指導	提出期間に間に合うように提出する（タブレットは1枚ずつ、紙は6枚ずつ）。 各期に開講する番号を確認し計画的に出席する。
面接指導	●視聴票：面接指導の出席と合わせ、①～⑧の計8時間となるように提出する。 ※視聴票による減免は原則4時間（6割減免）まで。
単位認定試験	添削指導、面接指導（視聴票を含む）を全て修了後に受験。
単位修得	（認定）に当たっての基準
評価方法	各単元ごとに3観点で評価（A・B・C）し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。

学習内容・計画

単元名（教科書ページ）	添削指導 No.	面接指導		単位認定 試験	観点別評価	
		開講番号	開講期		観点	評価規準
p. 12～41, p. 57 声という大切な楽器 日本の歌を歌おう 私たちの郷土の音楽 混声合唱を美しく響かせよう イタリア語の歌を歌おう アジアの歌を歌おう	1					知識・技能 【知】曲想と音楽の構造や歌詞との関わり、言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 【技】曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。
D. 26～p. 42～89 私たちの郷土の音楽 ドイツ語の歌を歌おう 英語の歌を歌おう フランス語の歌を歌おう アジアの歌を歌おう 発音や発声を感じて歌おう アンサンブルを楽しもう 和楽器の演奏を楽しもう リコーダーの演奏を楽しもう ギターを演奏を楽しもう	2	① ② ③ ④	I・Ⅲ期	3. 7. 9. 10 11. 13. 18. 19 2. 5. 6. 15 4. 12. 16. 27	p. 4～35 p. 36～65 p. 66～75 p. 76～99	知識・技能 【知】曲想と音楽の構造や歌詞との関わり、様々な表現形態による歌唱表現の特徴、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。 【技】他者との調和を意識して歌う技能、表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表している。
p. 94～98, p. 100～124 125～128 ユーロビートで歌おう 129～132 歌謡の歴史をたどろう 133～136 歌謡の歴史をたどろう 137～140 歌謡の歴史をたどろう 141～144 歌謡の歴史をたどろう 145～148 歌謡の歴史をたどろう 149～152 歌謡の歴史をたどろう 153～156 歌謡の歴史をたどろう 157～160 歌謡の歴史をたどろう 161～164 歌謡の歴史をたどろう 165～168 歌謡の歴史をたどろう 169～172 歌謡の歴史をたどろう 173～176 歌謡の歴史をたどろう 177～180 歌謡の歴史をたどろう 181～184 歌謡の歴史をたどろう 185～188 歌謡の歴史をたどろう 189～192 歌謡の歴史をたどろう 193～196 歌謡の歴史をたどろう 197～200 歌謡の歴史をたどろう	3					知識・技能 【知】音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。【技】曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。
p. 114～119 西洋音楽史	4					知識・技能 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。
p. 124～133 ベートーヴェンの交響曲の魅力を探ろう モーツァルトの交響曲の魅力を探ろう 交響曲の魅力を探ろう 総合芸術の魅力を探ろう	5	⑤ ⑥ ⑦ ⑧	Ⅱ期	8. 14. 21. 25 17. 26. 29. 33 20. 23. 31. 34 22. 24. 30. 34	p. 100～107 p. 108～121 p. 122～139 p. 140～155	知識・技能 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。
p. 140～151 音楽 『音楽を形づくっている要素』とは ポピュラー音楽の軌跡 What a wonderful world Wouldn't it be nice 世界でヒットした日本のポピュラーソング よを聞いて歩こう 身近なポピュラーソング 僕のこと	6					知識・技能 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。
						思考・判断・表現 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したものと感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。
						主体的に学習に取り組む態度 言葉の特性や曲にふさわしい発声で表情豊かに歌うことに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
						思考・判断・表現 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したものと感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。
						主体的に学習に取り組む態度 混声合唱の響きを味わいながら他者との調和を意識して歌うことや、曲想が歌詞の内容や作曲者の思いなどによってもたらされていることを理解しながら歌唱表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。雅楽の楽器の音色や奏法、楽器の構造、管弦の響きに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
						知識・技能 【知】音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。【技】曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。
						思考・判断・表現 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したものと感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。
						主体的に学習に取り組む態度 西洋音楽の源流を中世からルネッサンスの音楽の鑑賞と文化的・歴史的背景の学習で辿ることに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
						知識・技能 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。
						思考・判断・表現 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したものと感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。
						主体的に学習に取り組む態度 オーケストラの響きや、ソナタ形式において主題が展開されたり再現されたりするおもしろさに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。総合芸術において物語と音楽が関わり合いながらどのような表現上の効果をもたらしているか、音楽と他の文化が互いにどのように影響を合せて発展してきたかに関心をもち、主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
						知識・技能 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。
						思考・判断・表現 リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したものと感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。
						主体的に学習に取り組む態度 英語の言葉の特性や曲にふさわしい発声、アクセントや子音・母音の扱い、語感の違いなどを生かして歌唱表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。

全課程から問題を選出し、出題する。